



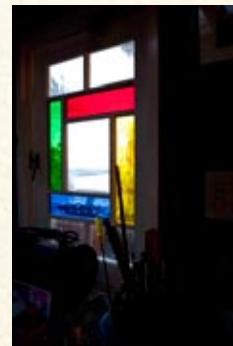
S S J  
SPECIAL  
TALK  
SESSION

佐久間浩さん × ジョージ・カックルさん

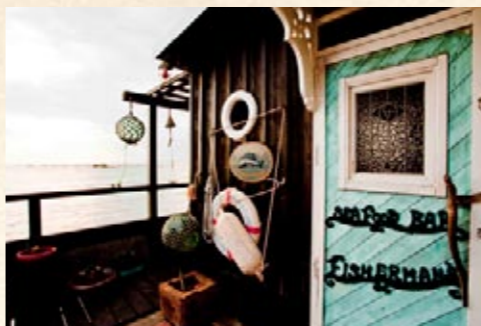
# 海の光と闇に包まれて… 遊び小屋で語る 湘南の今昔

“魂”がこもった海辺の家にこだわり、本物の海の暮らしを提案している逗子の不動産、佐久間不動産の佐久間浩さん。そして、ラジオパーソナリティとして活躍中の鎌倉生まれのジョージ・カックル氏。ふたりのディープでソウルフルなトークセッションをお楽しみください。

Photo: Taisuke Yokoyama Interview: Meiko Shinomiya



©George Cockle / Shonan Surf Journal



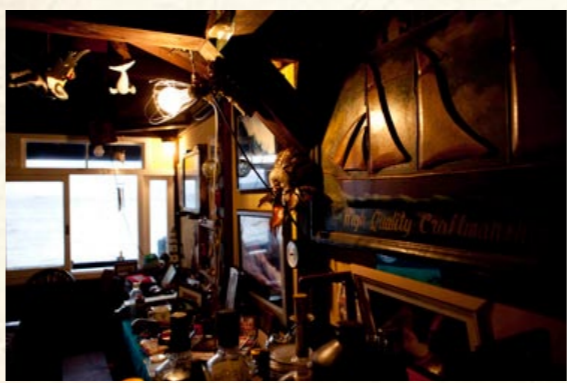
佐久間浩 (さくまひろし)  
逗子駅前にある「佐久間不動産」の2代目オーナー。葉山で生まれ、子供の頃から素潜りや波乗りをしながら海で育った彼は、こだわりのある海辺の家しか扱わないし、その「家」に合ったお客にしか紹介しない。森戸海岸に海の遊び小屋(今回の撮影場所)を所有

SSJ.. ジョージさんが生まれ育った鎌倉の街は昔と変わっていますか？

ジョージ・カックルさん(以下、ジョージ).. 変わっています。佐久間さんはよく知っていると思うけど、鎌倉が変わってしまったのは、遺産相続の税金制度のため親の家に住めなくなるからです。お屋敷を壊しちゃうのは、鎌倉にとつてマイナスだと思います。サンフランシスコで家をもっていた時の固定資産税は、実に面白い仕組みで買った時の価値がキープされる。僕は毎年2000ドル払っていたのですが、向いに住んでいるおばちゃんは26ドル! だって彼女が買った時は凄く安かったから税金も上げない。住民がずっと住めるようにそうしてある。そして、サンフランシスコには木の家がたくさん残っている。木の家って100年、200年もつから。でも日本では、木の家を壊しちゃう。なぜ? っていうのも思うんだ。直せばいいじゃん。すぐ壊しちゃってコンクリートのマンションに変身。それは木の家がダメだというのはなく、頭の中がダメなんじゃないかな。  
佐久間浩さん(以下、佐久間).. そうだね。悲しいことに日本人の家に対する精神が貧しいんだと思う。  
ジョージ.. シスコなんか100年前の家だよ。4階建てのアパートも木造です。  
佐久間.. あれカッコイイよね。  
ジョージ.. 家を改造する時、中は改造しても、道に面している所は残すんだ。そうすると街並みが変わらない。

SSJ.. 日本ではそういう規制は？

佐久間.. できるけど、文化的なものに価値を置いていない今の税制のままで残らない。戦後新しくなった相続制度では、お金がないと庭付きの家を泣く泣く売るケースも出てきます。庭も家も壊れる。しだいに古い街は壊されていく。  
ジョージ.. 前にロンドンで、6階建ての建物の横に同じくらいの背丈に樹が伸びているという光景を見ました。樹より背の高い建物を建てちゃいけないという法律があるんですね？  
佐久間.. そう。建物を高くしていくには樹の成長を待たなきゃいけない。  
ジョージ.. そうすると凄く緑の街になるのよね。俺が小学生の頃だから、1960年代のことですが、よく親父とヨットで油壺(三浦市三崎町)に行く



「もし、鎌倉という存在がなかったら、日本には帰ってこなかったらどうなるか。」  
東京の引力では帰ってこなかったらどうなるか。

SSJ.. お二人が出会ったきっかけは何だったのですか？  
佐久間.. たしか、葉山でのパーティーだよな。  
ジョージ.. サーフアーツで皆同じような所にいるから、佐久間知ってるでしょ? という感じ。誰も紹介はしてくれないんだけど、いつの間にか知り合いになってるから不思議。  
SSJ.. 確かに、正式に紹介してくれたらいいコミュニケーションですよな。

好きなことをしているからか、楽しい人が多い。  
ジョージ.. 好きなことをする。それがサーファーの夢です。歳とつてもう生活の心配をしないで、いつでも、どここの人達はあまり知らないのでは？  
佐久間.. 知らなくていいんじゃない(笑)?  
ジョージ.. 東京に毎日仕事に行く人でも、こつちに住まないとわからない。引退してこつちに来るといふのは意味がちよつと違う。  
佐久間.. 引退してからだと体が利かない。遊びの方が仕事よりも大事。  
ジョージ.. 海は、コートを借りるのと違って時間を決めて行けない。今日波があるとは限らないし、休みの日に都合よく波が来てくれればいいけど... だから、波合わせできる仕事をしようとする傾向がある。それがサーファーの幸せです。  
佐久間.. どこかで帳尻を合わせて稼げばいい(笑)。朝、波いいよと電話がきて、すぐ行ければいいけど、2時間後に行けば、風が入っちゃってオンシヨ

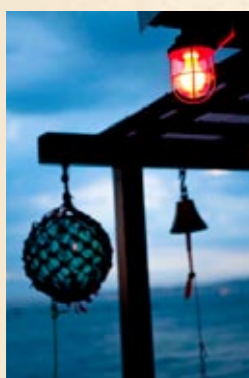


ジョージ・カックル  
ラジオパーソナリティ、DJ、音楽プロデューサー、コラムニスト、作詞家。多くの肩書きを持つ自由人、サーファー。鎌倉で、日本舞踊の師匠の母とアメリカ人でヨットマンの父の間に生まれ、後にサンフランシスコで18年間暮らし、13年前から再び鎌倉暮らしに戻る

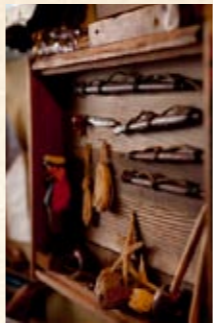
途中立ち寄る友達の家にはプールがあった。綺麗なプールじゃないけど、そのプールは潜ると外にも行けたんだ。まわりには緑が多く田んぼもあって、その岩のプールには虫もいるんだよ。  
佐久間.. それどこ? 宝探しだな。  
SSJ.. そういう面白い家が昔はいっぱいありました?  
佐久間.. 油壺には結構あります。  
ジョージ.. あるよね。岩の上とか。  
佐久間.. オンザロックでしょ。  
SSJ.. 佐久間不動産はお父様の時代から海辺の住まいにこだわりをもちでしたか?  
佐久間.. 親父はそこまで海にこだわっていなかった。昔は、海辺のウオーターフロントに住まうのは外国人の人達だけでした。  
SSJ.. いつ頃から変わってきたのですか?



アでぐちゃぐちゃ。特に、これから夏は南風がどんどん吹いちゃうしね。  
ジョージ.. 俺なんか夏は、ラジオとテレビ以外の仕事を入れないよ。東京に行かなくちゃいけない時は、お昼を避けて夜、飲みながら打ち合わせをする。江戸に出たからには江戸の生活も楽しみたいので、終電までいるよ。  
SSJ.. ジョージさんにとって鎌倉とは？  
ジョージ.. 俺は途中、アメリカ人になる修行をするために(笑)、向こうに18年間住んでいたんだけど、もし鎌倉という存在がなかったら、日本には帰ってこなかったかもしれない。  
佐久間.. 鎌倉はジョージのキーワードだね。  
ジョージ.. 東京に住んだこともあったけど、東京の引力では帰ってこなか



ただらうね。電車が無い時とか、いろいろ不便さを感じることもあるけれど、鎌倉の街に住むのが好きなんだ。  
佐久間.. 合っているんだね。またその不便さがいいんだよ。  
ジョージ.. 別荘なら、鎌倉より葉山の方がいいと思う。ペースがもっとゆるりしているから。鎌倉は一応、街だけど、葉山はちよつとまたニユアンスが違う。特別な何かがある。他の日本の田舎へ行くと、普通の田舎。普通じゃ足りない。  
佐久間.. 適度に東京に近いし、適度に田舎があつて、適度にシャープ。そこがいいよ。  
ジョージ.. 鎌倉では当たり前のように、近所のお寺や神社に行つて、お賽銭をポン。生活の中で普通にしている。  
佐久間.. 歯を磨くみたいだね。生まれた時から身に染み込んでいるから、宗教をもたなくてもいいよな。  
ジョージ.. 日が射すような感覚を味わえる場所が、この辺りにはいろいろある。こつちの小屋なら、たとえ不便な立地条件でもいい。  
SSJ.. 湘南の昔と今を比較して、一番の違いはどのところでしょう



でしょうか？

佐久間… 建物が全部変わっちゃったところですよ。戦後直後に戻ってれば、この街はフリーズされた場所になる。京都みたいな所。いっぱい人が来るよ。そしたらもう壊せない。そういう好循環になっていたはずなんです。ジョージ… あと、鎌倉が変わったと思っつのは、路地が広がっていること。

**「昔の湘南の海には、半端ない数の人たちがいた。警察も協力的で、海の家のレストランは、毎日がお祭りだった。」**

また落ち着いた鎌倉の顔に戻る。昔の鎌倉の面影が見え隠れするところですよ。SSJ… 湘南で過ごす、どんな二日が好きですか？

ジョージ… 朝起きて、コーヒー飲んで庭のプラントを見て、それから日を始めたのですね。波があれば海に行きたい。あとは家で音楽を聴いたりします。夏は海での大工を手伝いに行きます。日に当たりながらの大工は最高。だから、夏は仕事をあまり入れないようにしている。夏は怠け者です。というか、こつちにしかない毎日を味わいたい。冬は逆に東京に行きたい。電車温かいから

SSJ… では、湘南で昔から変わら

ないものは何ですか？

ジョージ… 商店街の人から「今、誰々が通りましたよ」と声をかけられたり、みんな顔見知りだという雰囲気があるところですよ。湘南ラインで便利になって、昔と比べたら観光客が多くなったかもしれないけれど、鎌倉に来るのはほとんどが日帰りの人たち。ホテルはあまりないし…。だから日が暮れたら、

**「夏の間は、毎日がお祭りだった。」**

また落ち着いた鎌倉の顔に戻る。昔の鎌倉の面影が見え隠れするところですよ。SSJ… 湘南で過ごす、どんな二日が好きですか？

ジョージ… 朝起きて、コーヒー飲んで庭のプラントを見て、それから日を始めたのですね。波があれば海に行きたい。あとは家で音楽を聴いたりします。夏は海での大工を手伝いに行きます。日に当たりながらの大工は最高。だから、夏は仕事をあまり入れないようにしている。夏は怠け者です。というか、こつちにしかない毎日を味わいたい。冬は逆に東京に行きたい。電車温かいから



佐久間… 父親が撮った昭和28年頃の海の写真をみると、その頃からモデルさんを森戸神社の裏に集めて撮影会をしたりしている。集まっている人たちは、今でいうカメラ小僧。

ジョージ… 僕達の子供時代って、真黒に焼けているのを競うコンテストがあったじゃない？

佐久間… あったあった、当時は「黒ん坊大会」って呼ばれていたよ。いかに健康的で黒いかと！

SSJ… この写真を見ていると、昔の人みんな楽しそうですね？

佐久間… まったくハッピーですよ。人の顔がニコニコしてる。元氣。これから良くなるぞと上を目指している。ジョージ… 時代だよな。考えてみたら、昔の海の写真って、逗子とかでも凄いで賑わっていましたね。今とは比べられないほど。

佐久間… 半端じゃない。1日に10万人くらいいた。親父が「ラッキーランド」っていう海の家をやったんだけど、ステージには警察やバンドが出てた。警察も協力的で毎日がお祭り。SSJ… いつまであったのですか？



佐久間… 俺が5、6歳の頃までだから、1962年くらいまでかな。SSJ… アメリカ文化の影響を強く受けているのも湘南の特徴ですよ？

佐久間… うちの親父のラッキーランド（森戸海岸）でも、そういう光景をいろいろ見ました。たとえば、当時は高級品の毛布を浜に惜しげもなく敷いて、

**「人間も地球の一生物のひとつ。人間のサイクルだけで地球は動いているのではない。これからは、もっと謙虚な気持ちにならなければ。」**

ちている場所で、道もなかった。絶壁の下は海で、その奥に土地がある。1年がかりで道を自分で作って、6年かけて家を完成させました。よっぽど物好きじゃないとこんなことやらない(笑)。

SSJ… 湘南の将来は、どうなっていると思いますか？

佐久間… カルチャーを発達させて、みんなカッコ良くなってほしいね。建物などを大切に、緑いっぱい。毎年1人が1本の樹を植える。例えば一つのケヤキを植えるでしょ。100年経つたらケヤキって信じられないくらいに大きくなっちゃうよ。1999年なんて人間のサイクルでは長いかもしれないけど、地球から見れば一瞬。今までに伐っちゃった分、樹をいっぱい植えて、センスのある街に住みたいよね。ジョージ… 今日、逗子の海に寄ってきたら、海の家から1mのところまで水が来ていて…。佐久間… 砂浜が寝食されているよね。それで高潮が来たら、もうやられちゃうよ。プロテクトできないんだもの。今地球人口が65億人にまで増加し過ぎて、地球の資源が乏しくなっている。あと50年で95億人になるらしい。ジョージ… 地球の重量より人間の総体重のほうが重いんじゃないの(笑)。佐久間… 地球は壊れ人類は滅びる。次は昆虫の出番かも。ジョージ… アリかもね。アリの団体行動の動きには感動するね。自分の役目がわかっている。佐久間… アリに負けないように謙虚に見習って、人間も今こそ真のソウルが宿ったカルチャーを取り戻したいと思えますね。

